

学校長

建石 淳

学校長あいさつ

令和7年度、高山市初の義務教育学校として開校した本校は、今年度47名の児童生徒で2年目をスタートしました。

本校は、美しい自然に囲まれた豊かな自然と、温かい伝統文化が息づく山間地域の義務教育学校です。全校児童生徒47名という少人数ならではの強みを活かし、1年生から9年生までが、ひとつの家族のように共に学び、高め合っています。

現代社会では、情報機器の急速な進化、少子高齢化、グローバル化といった社会課題に直面していますが、ここ荘川においてもその課題は例外ではありません。こうした社会の変化に対し、「グローバルな社会を生き抜く力を育成すること」を重視し、本校では、3つの柱を中核に据え、教育活動に取り組んでいます。

1点目は、「保小中一貫した英語教育」です。併設している保育園とも連携し、文部科学省教育課程特例校の指定を受け、前期課程1・2年生における英語教育を導入し、全国初となる「保・前・後一貫の英語カリキュラム」を作成しているところも特徴です。

2点目は「郷土教育」です。豊かな自然、冷涼な気候等を活かした産業、各地区の祭礼に代表される郷土文化を学ぶことを通し、地域への愛着を育んでいます。さらにその学びを英語教育と関連付けることで、荘川の魅力を国内外へ発信する力を育成するとともに、異文化・多文化理解を深めながら、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を目指しています。

3点目は「非認知能力の育成」です。小規模校であるがゆえに固定された人間関係等の課題に対し、SEL（社会的情動学習）を導入し、自己理解や他者理解を深めながら、人間関係構築力の向上を目指しています。また、多様な文化や価値観をもつ人々との交流を通して、相手を尊重しながら対話する姿勢や、協働して課題解決を図る力の育成にもつなげています。

また、本校は、高山市の小規模特認校として、市内在住の児童生徒であれば、従来の通学区域に関係なく、手続きを経て、誰でも通学することができます。ぜひ、荘川で、私たちと一緒に学びませんか。